

第26回技術倫理協議会議事録

日時 2009年7月14日(火) 17:30~19:30

会場 土木会館 CD会議室

出席者 議長：池田(土木) 幹事：櫛田(技術士会)、三木(電子情報通信)

委員：札幌(工学教育)、皆川(土木)、中村(化学工学)、山崎&水野(技術士会)、
高橋(建築)、増田(建築)、鳥飼(原子力)、矢野(原子力)、小松(電子情報)、
大輪(機械)、伊藤(化学)、佐々木(電気)、
事務局：佐藤(土木)

配布資料

技術倫理協議会 委員名簿(2009.7.14)

資料-1 第25回技術倫理協議会議事録

資料-2 倫理教育の実態調査アンケート結果

資料-3 (なし)

資料-4 技術倫理協議会のウェブサイトのアドレス変更について

主要な議事

1. 前回議事録確認(資料-1)

皆川委員から資料に基づき説明があり、議事録案を了承した。

2. 倫理教育の実態調査アンケート結果(資料-2)

皆川委員から資料に基づき、アンケートの趣旨および結果の概要について説明があった。その結果、今回の結果をベースに引き続き第2次のアンケートを行うこととした。

なお、アンケート結果に関して、以下のようなコメントがあった。

- ・ 達成度に関する測定、評価が難しく、そのためにも、目的、目標の設定を明確にすることが重要である。
- ・ 事例を扱うことは難しいが、事例を扱った教材のほうが関心が高い。
- ・ 技術者どのようなジレンマの中にいるかを教育することが重要である。
- ・ JABEEの観点では、倫理教育は必修であるかではなく、学習目標の中にあることが重要である。
- ・ 今回のアンケート結果自体も興味深い、回答数が少ない学会もあり、追加調査が必要である。

3. シンポジウムの開催計画

池田議長から、年1回のペースでシンポジウムを開催していることから、2009年度もシンポジウムを開催することが提案され、了承された。第5回のシンポジウムについては、以下の方針を確認した。

- ・ 日程 ; 12月4日(金) 13:00~
- ・ 世話役 ; 日本工学教育協会(札幌委員)に検討頂く。なお、日本建築学会及び電子情報

通信学会から手伝っていただける方を出す。

- ・ 場所 ; 日本建築学会で検討頂く
- ・ 構成 ; 長島アドバイザーのご講演、アンケート報告（皆川委員）、現場中心に Good Practice の発表、などで構成する
- ・ その他 ; 事務局から札幌委員へ前回の会計報告を送ることとした。計画内容に関しては、次回協議会で状況報告を行うこととした。

4. 技術倫理協議会の今後の運営体制

- ・ 技術倫理協議会の安定的な運営の観点に加え、日本工学会の使命に鑑み、今後当協議会を日本工学会の活動としていくことに関して池田議長から提案があり、検討課題とすることとした。
- ・ 次回協議会に池田議長の試案を提起することとした。
- ・ なお、委員からは、議長提案に賛意が示された。

5. その他

- ・ 各学会などから、倫理教育に関するイベントの紹介があり、当協議会のホームページに「イベント・カレンダー(仮称)」を掲載することが了解された。
- ・ 次回は、9月8日（火）17:30 から土木会館A会議室とする。

以上